

富士山火山防災対策協議会

平成24年度事業報告

平成25年5月9日

富士山火山防災対策協議会の設置

富士山火山防災対策協議会 (部課長レベル)

平成24年6月8日現在

富士山火山防災対策協議会・三県コアグループ

(担当者レベル)

山梨県コアグループ (担当者レベル)

静岡県コアグループ (担当者レベル)

神奈川県コアグループ (担当者レベル)

各県コア合同幹事会 (各県コア間の調整及び情報共有)

山梨県
(防災危機管理課)

静岡県
(危機政策課、危機情報課、危機対策課)

神奈川県
(災害対策課)

気象庁地震火山部火山課

峡南地域県民センター

富士・東部地域県民センター

環境科学研究所

富士吉田市

西桂町

忍野村

山中湖村

富士河口湖町

鳴沢村

身延町

東部危機管理局

沼津市

三島市

富士宮市

富士市

御殿場市

裾野市

長泉町

小山町

県西地域県政総合センター

東京管区気象台

甲府地方気象台

静岡地方気象台

横浜地方気象台

富士砂防事務所

山梨県 砂防課

静岡県 砂防課

神奈川県 砂防海岸課

火山専門家 (荒牧重雄氏、池谷浩氏、鶴川元雄氏、小山真人氏、藤井敏嗣氏、吉田明夫氏)

内閣府

避難時期や避難対象地域の確定に深く関与するメンバー(火山防災体制の指針)

- 山梨県 道路管理課
- 山梨県 富士・東部建設事務所吉田支所
- 山梨県警察本部警備部警備二課
- 富士五湖消防本部
- 甲府河川国道事務所
- 陸上自衛隊第1師団第1特科隊
- 中日本高速道路㈱八王子支社
- 富士急行㈱

- 静岡県 道路保全課
- 静岡県 土木防災課
- 静岡県 熱海土木事務所
- 静岡県 沼津土木事務所
- 静岡県 富士土木事務所
- 静岡県警察本部警備部災害対策課
- 静岡国道事務所
- 沼津河川国道事務所
- 陸上自衛隊第1師団第34普通科連隊
- 中日本高速道路㈱東京支社

- 神奈川県 道路管理課
- 神奈川県 県西土木事務所
- 神奈川県警察本部警備部危機管理対策課
- 陸上自衛隊東部方面混成団第31普通科連隊

噴火時等の避難等の火山防災対策を共同で検討する体制(防災基本計画)

協議会の事業計画

・計画に関すること

- (1)防災対策等の情報交換に関すること
- (2)広域避難計画の策定に関すること
- (3)避難勧告・指示、警戒区域の設定等に関する検討及び関係市町村への助言
- (4)三県及び関係市町村の地域防災計画の見直し及び修正に関すること
- (5)大規模災害時の非常現地災害対策本部の検討に関すること

・訓練に関すること

- (6)防災訓練等の活動等に関すること

・啓発に関すること

- (7)火山災害に関する専門的な研修の実施に関すること
- (8)防災意識の啓発活動に関すること

・その他

- (9)必要と認められること

3ヶ年計画

	24年度	25年度	26年度	27年度以降
計画	(1)関係機関との情報交換(随時実施)			
	(2)広域避難計画の策定	(2)広域避難計画修正		
訓練	(3)避難勧告・指示及び警戒区域の設定に関する検討			
		(4)地域防災計画の見直し及び修正		
		(5)現地災害対策本部の検討		
	(6)訓練計画の検討	訓練の実施	(6)訓練計画の検討	訓練の実施
			(6)訓練計画の修正	合同防災訓練の実施(調整中)
啓発	(7)専門研修の準備	(7)研修の実施	(7)研修の実施	(7)研修の実施
	(8)啓発活動の継続的な実施			



第1回富士山火山防災対策協議会

富士山火山防災対策協議会 広域避難計画の検討経過等（平成24年度）

項 目		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	協議会	① 静岡県で開催									
	三県コアグループ会議										①
	各県コア合同幹事会	①								②	
	各県コア	山梨県コアグループ会議	①		②		合同1		合同2	合同3	
	静岡県コアグループ会議		市町との個別打合せ								
神奈川県コアグループ会議				①						②	
検討結果	協議会での共同検討の成果	富士山火山防災対策協議会の設置	データ等の収集		避難範囲基本モデル原案 現地災害対策本部候補地		避難範囲基本モデルの完成		ゾーン・ラインブロックによる避難方式		流下物避難の決定 (融雪型火山泥流除く)
	避難対応の検討		●————→								
訓練	「空からの脅威」の検討				大きな噴石	●————→					
	「流下する脅威」の検討							小さな噴石・降灰	●————→		
	訓練実施計画の策定・訓練の実施			山梨 計画	●————→				訓練 図上訓練		
									計画		
										訓練	

広域避難計画の考え方

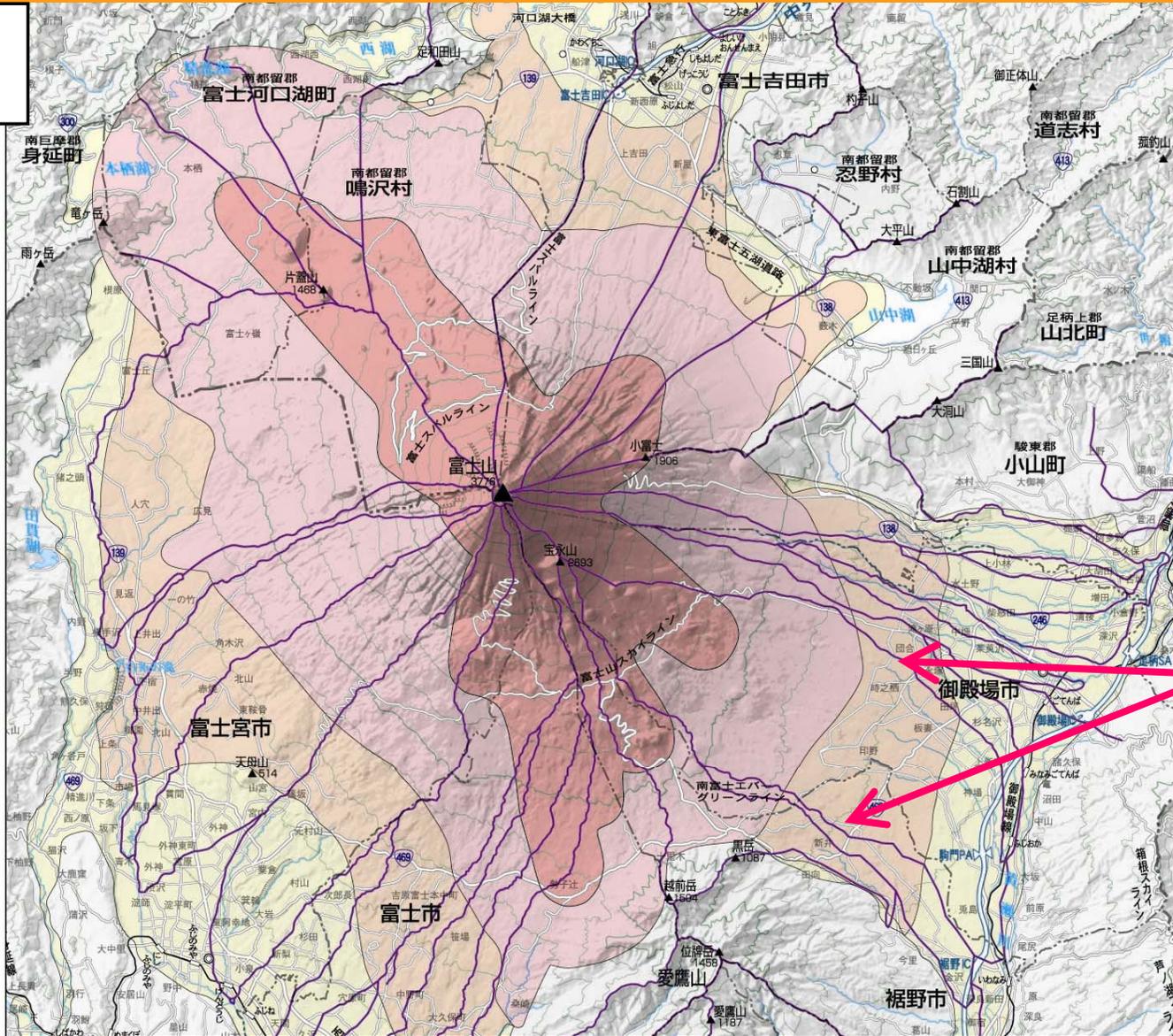
ステップ1	ステップ2	ステップ3
避難対象の 区域の検討	避難施設等の 検討	避難誘導 方法の検討
1.危険区域の 設定 2.避難単位の 設定 3.避難者数の 算出	1.避難所の 選定 2.避難所収容 人数の算出 3.避難経路の 選定	1.交通規制 箇所の決定 2.避難誘導 方法の決定 3.誘導體制の 確立

富士山モデルの構築

～ゾーンとライン・ブロックを組み合わせた
弾力的で段階的な避難計画～

富士山麓全域の流域界図

A



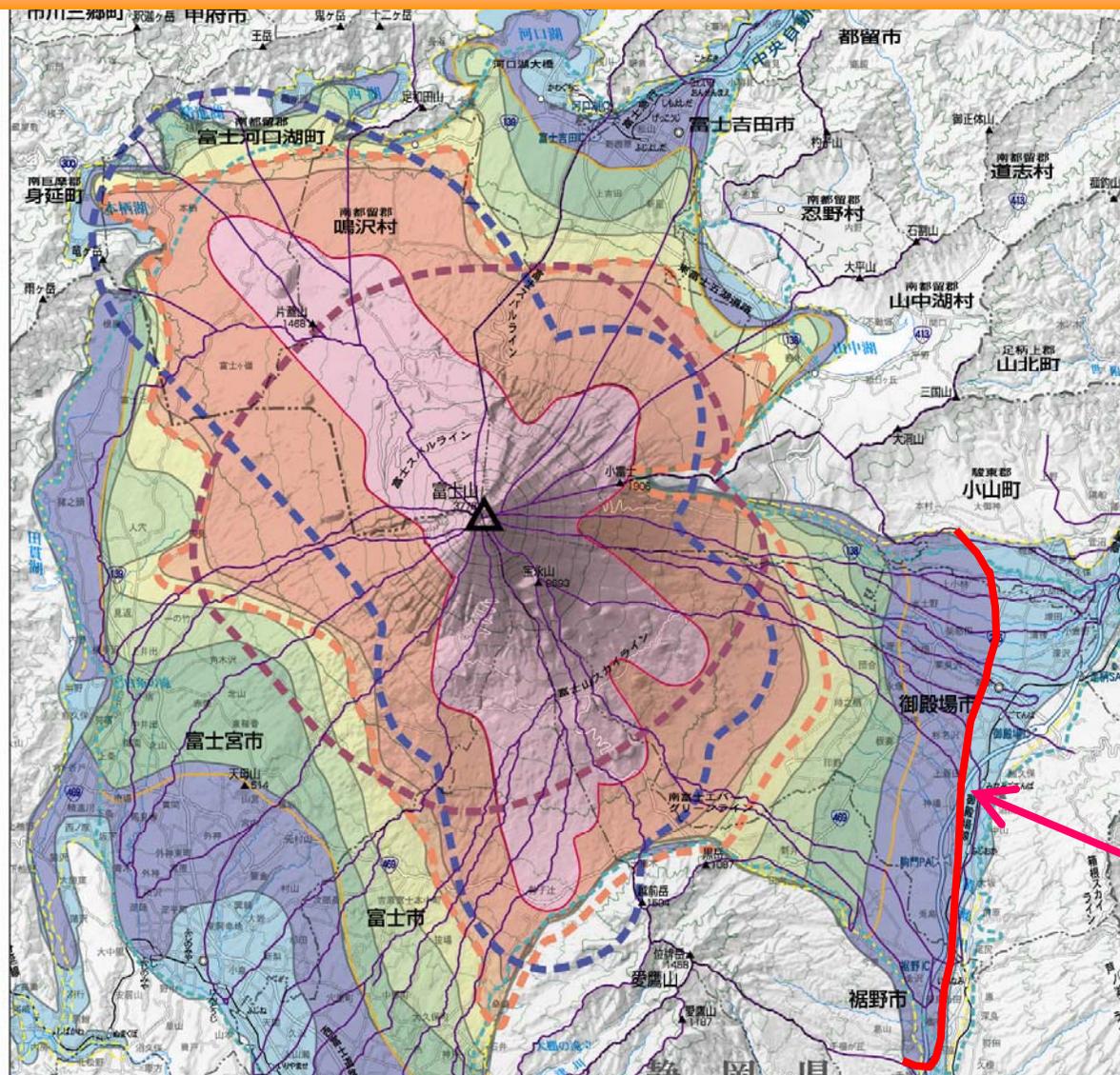
流域界

降水(雨水、融雪水など)が集まって流れる領域の大きな範囲

富士山火山ハザードマップ:溶岩流、噴石、火砕流、融雪型火山泥流についての影響予測範囲を重ねて表示したもの

溶岩流可能性マップ＋流域界

B

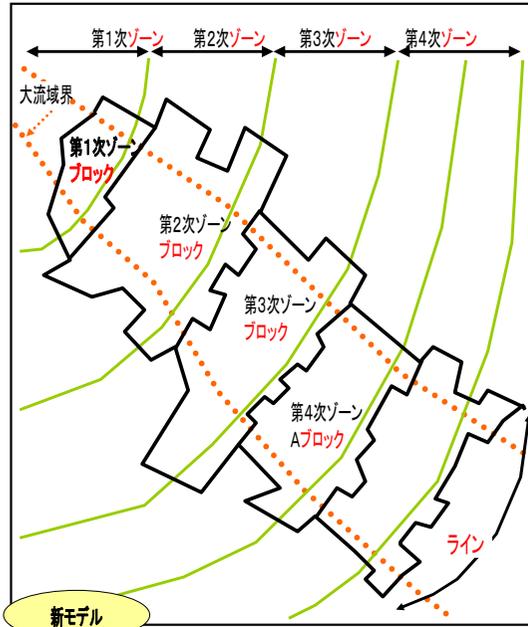


凡例	
	山頂
	火口分布領域
	2時間で到達する可能性のある範囲
	3時間で到達する可能性のある範囲
	6時間で到達する可能性のある範囲
	12時間で到達する可能性のある範囲
	24時間で到達する可能性のある範囲
	7日間で到達する可能性のある範囲
	最終的に到達する可能性のある範囲 (最大で約40日)

第4次ゾーンAと第4次ゾーンBの境界

溶岩流可能性マップ: 溶岩流が到達する可能性のある範囲について、最も早く到達する時間で合成したもの。
 大流域界: 降水(雨水、融雪水など)が集まって流れる領域の大きな範囲。

ゾーン・ライン・ブロックのモデル



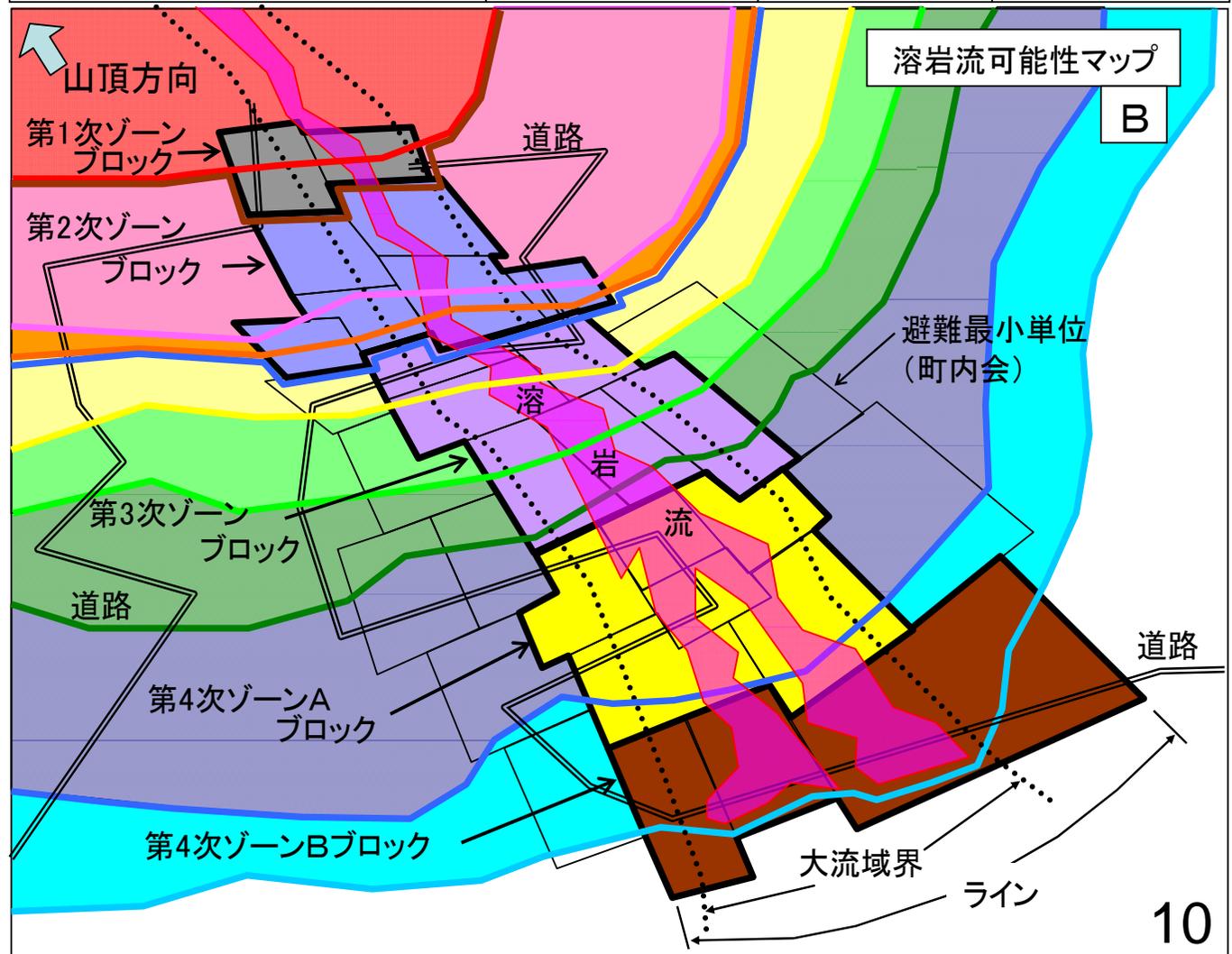
A 富士山火山ハザードマップによる影響の度合いに応じたゾーン区分(噴火前)

■ 第1次ゾーン
火口分布領域

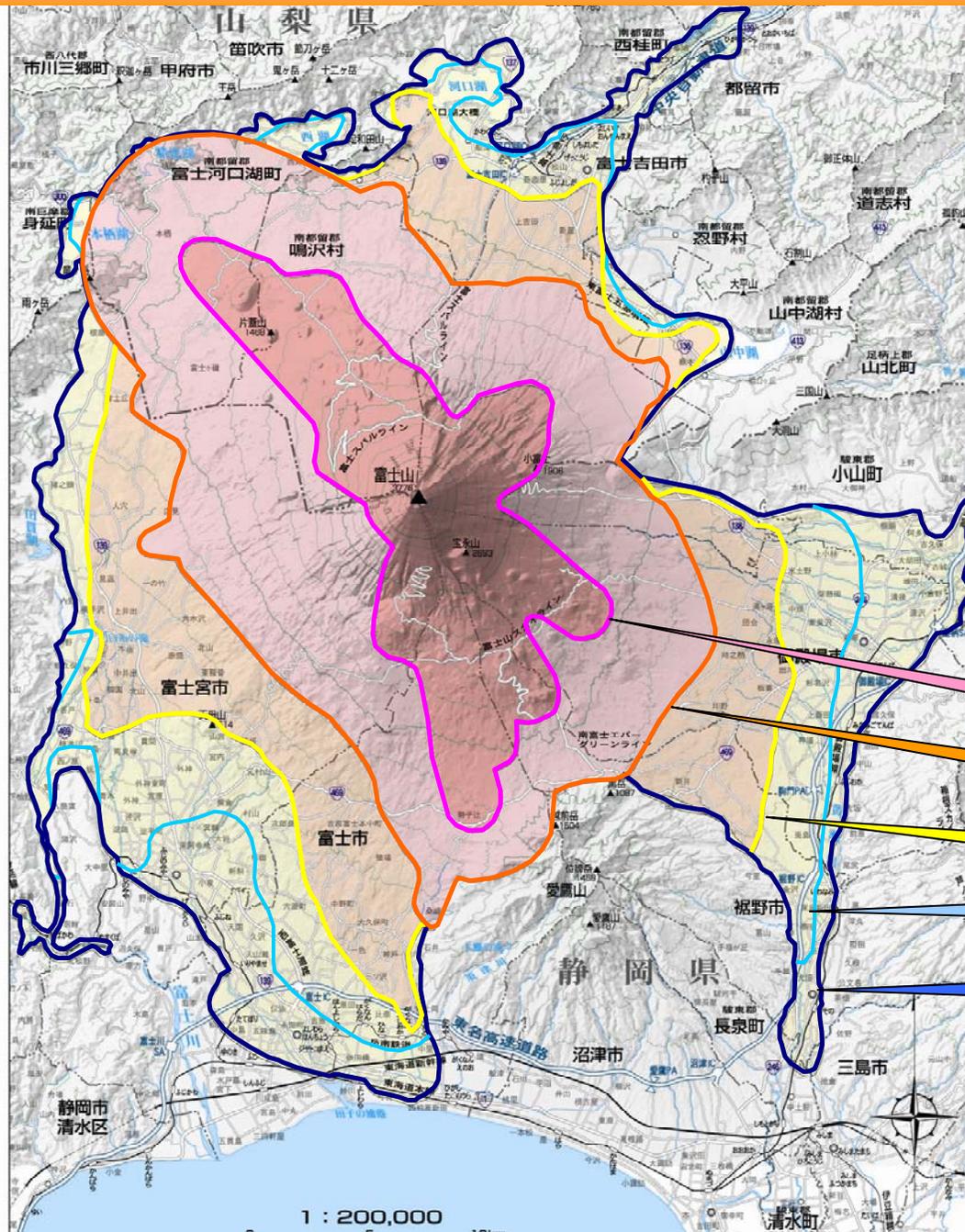
■ 第2次ゾーン
第1次ゾーン範囲以外で、噴石・火砕流・火砕サージが到達、または溶岩流が3時間以内に到達する可能性がある範囲

■ 第3次ゾーン
第1～2次ゾーンの範囲以外で、溶岩流が24時間以内に到達する可能性がある範囲

■ 第4次ゾーン
第1～3次ゾーン範囲以外で、溶岩流が到達(最終)する可能性がある範囲



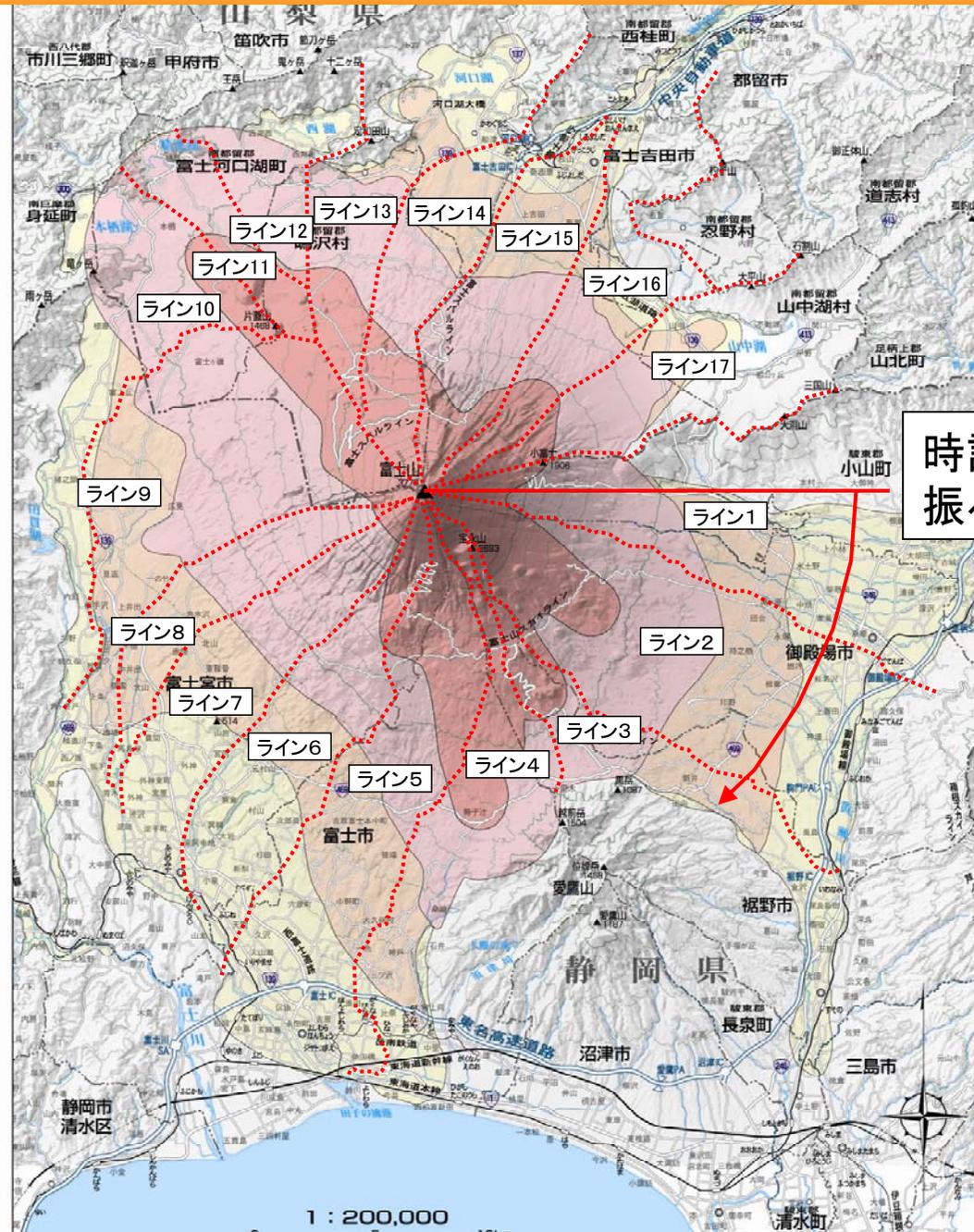
ゾーン(第1～第4B)



山頂から山麓
に向かって、
第1次ゾーン～
第4次ゾーンB

- 第1次ゾーン
- 第2次ゾーン
- 第3次ゾーン
- 第4次ゾーンA
- 第4次ゾーンB

ライン(ライン1~17)

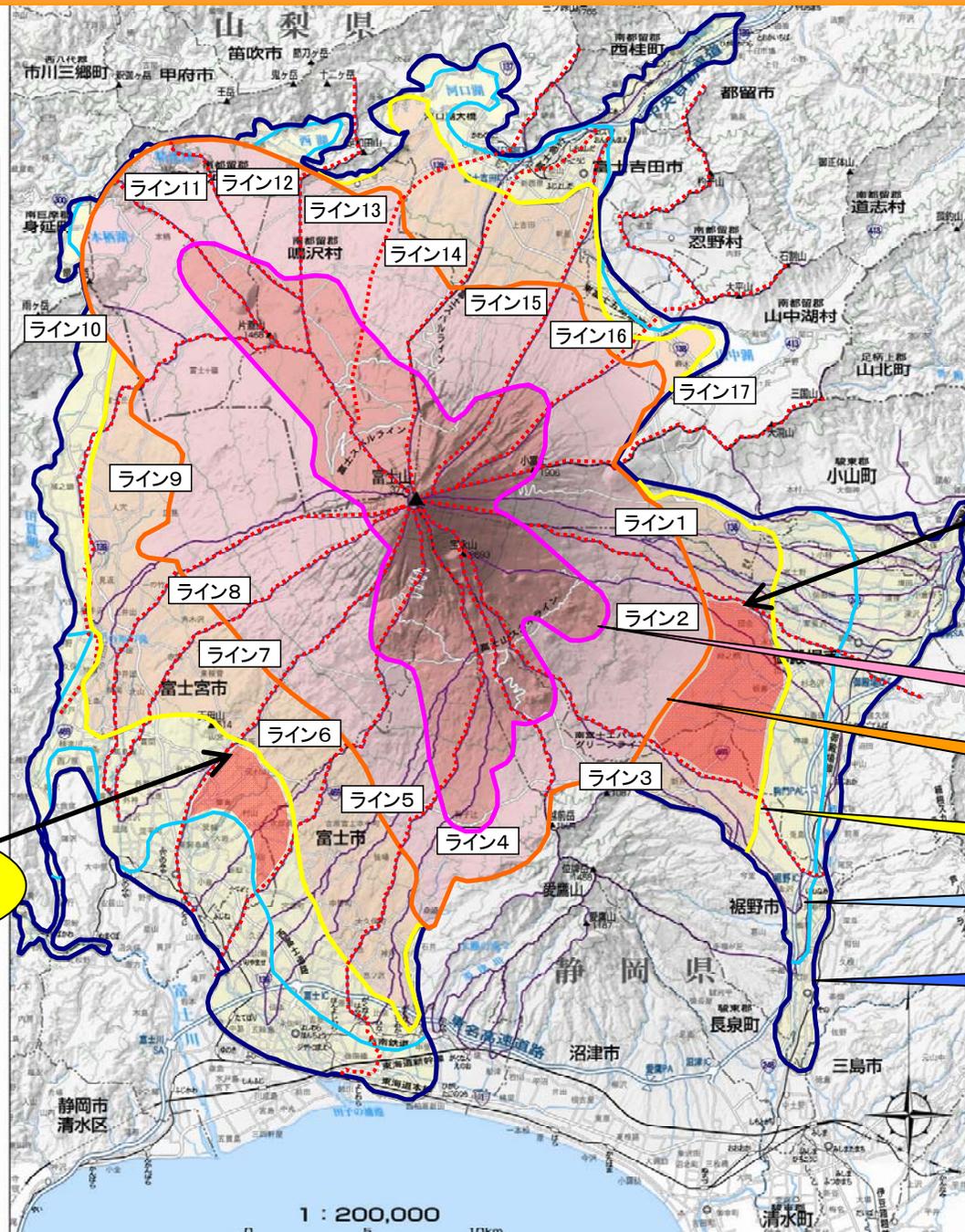


ライン1~
ライン17

時計回りにライン番号を
振る

ブロック(ライン×ゾーン)

17ライン
×
5ゾーン
↓
85ブロック



ライン2の上から3番目の3ゾーンのブロックを示している。

2-3ブロック

6-4ブロック

第1次ゾーン

第2次ゾーン

第3次ゾーン

第4次ゾーンA

第4次ゾーンB

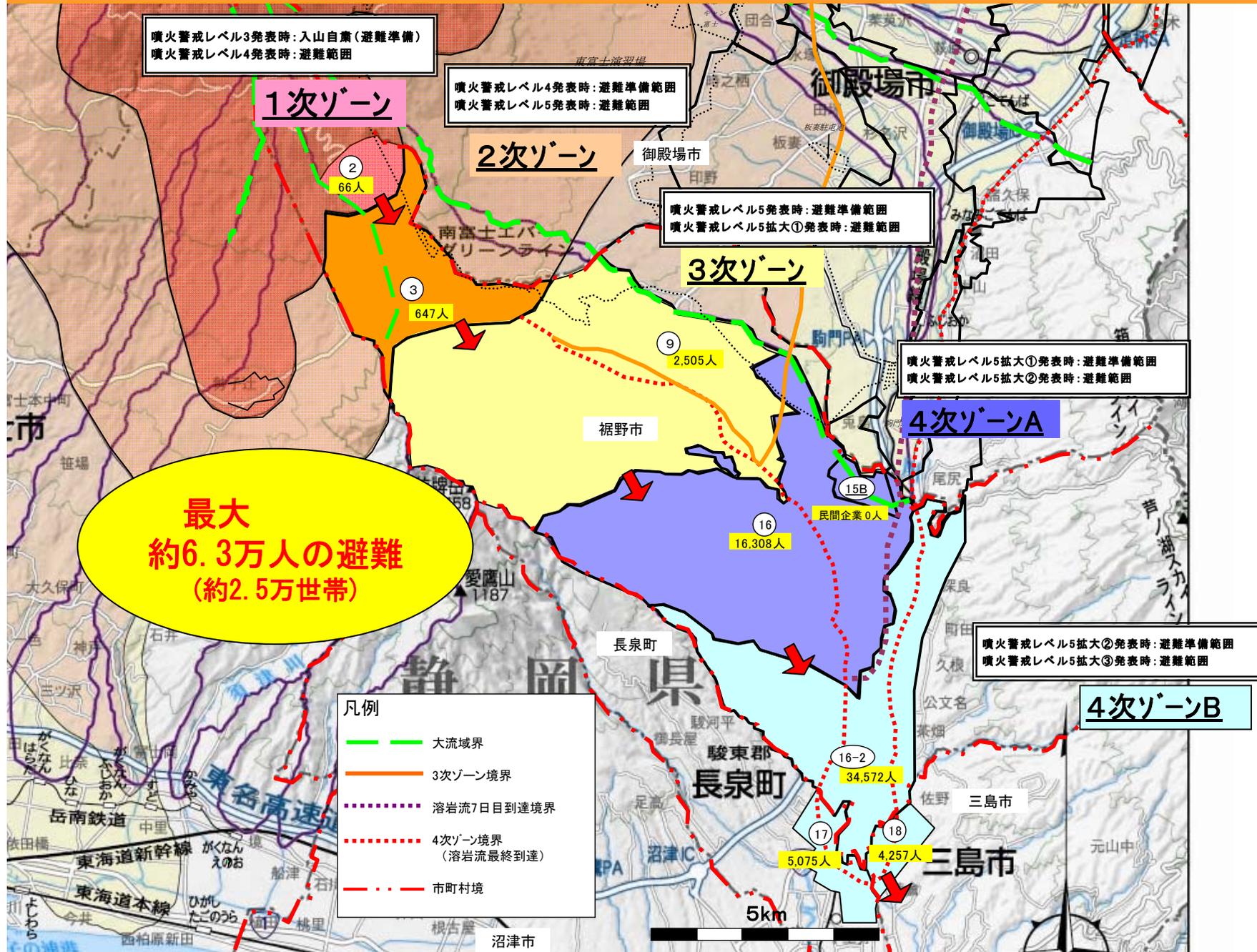
避難計画個表(例:ライン3)

ライン	ゾーン	市町	避難地域	世帯	総人口	男	女	要援護者	避難手段	集合場所	避難手段	第1次集合場所	避難手段	避難場所(収容人数)	
ライン3	1	裾野市	観光客・登山者			Grinpa最大観光客/日 約10,000人(平成24年10月1日)						— 車 →	レベル3時 →1次ゾーン外へ		
			② 須山地区 別荘町内会 (旧日本ランドのみ)	30	66	36	30	0	0	自家用車		富士山資料館	自家用車(主体)、バス 市道1-16 国道469 市道4054	→ 市民体育館(723) 市内避難 66人 市外避難 0人	
	2	裾野市	観光客・登山者			富士サファリ最大観光客/日 約20,000人(平成24年10月1日)						— 車 →	レベル4・5時→3次ゾーン外へ		
			③ 須山地区 須山4 別荘町内会 (旧日本ランド除く)	22 307	65 582	30 302	35 280	1 4	1	} 自家用車		富士山資料館	自家用車(主体)、バス → 市民体育館(723) → 深良中学校体育館(250)	市内避難 647人 市外避難 0人	
			小計 (旧日本ランド除く)	329	647	332	315								
	⑨ 須山地区 須山1 須山2 須山3 須山6 富岡地区 下和田	137 127 144 117 256	453 406 477 375 794	215 195 235 191 378	238 211 242 184 416	3 4 0 0 3	10	} 自家用車	裾野市運動公園	自家用車(主体)、バス → 東中学校体育館・教室(796) → 東小学校体育館・教室(903) → 向田小学校体育館・教室(766) → 東西公民館(112)	市内避難 2,505人 市外避難 0人				
	小計	781	2,505	1,214	1,291										
	4 A	裾野市	⑮B 民間企業												
			⑯ 富岡地区 呼子1~3	326	1,072	519	553	7	} 自家用車	裾野市運動公園 富岡第一小学校 市民文化センター 富岡第一小学校 千福が丘小学校 富岡第一小学校 西中学校	自家用車(主体)、バス	深良中学校格技場・教室(344) 東中学校格技場(117)			
			金沢	307	858	459	399	8							
御宿新田			533	1,412	745	667	3								
関自独身寮			283	283	276	7	0								
関自社宅			279	706	382	324	0								
トヨタ東富士寮			449	449	449	0	0								
トヨタ東富士			174	451	226	225	0								
メゾン東富士			96	309	160	149	0								
矢崎社宅			237	616	272	344	0								
矢崎独身寮			85	85	66	19	0								
ワイズ裾野寮			41	72	50	22	0								
今里			263	699	369	330	2								
中里			151	433	226	207	1								
田場沢			77	238	114	124	0								
上城			56	188	95	93	0								
下城	59	195	100	95	1										
中村	71	231	118	113	1										
森脇団地	54	121	67	54	2										
上ヶ田	175	555	265	290	1										
御宿入谷	245	675	347	328	7										
御宿上谷	186	536	260	276	2										
御宿坂上	236	689	337	352	0										
御宿平山	83	206	107	99	2										
千福	231	648	319	329	10										
千福が丘	996	2,759	1,390	1,369	17										
千福南	63	183	93	90	0										
石脇	633	1,639	862	777	6										
小計	6,389	16,308	8,673	7,635	70										
4 B	裾野市	⑯-2 深良地区 岩波	621	1,486	761	725	5	} 自家用車	深良小学校					市内避難(中里地区) 433人 市外避難 15,875人	
		深良新田	192	551	284	267	1								
		原	133	410	198	212	1								
		上須	117	319	150	169	1								
		上原	165	468	222	246	5								
		上原団地	39	89	43	46	0								
		遠道原	149	429	226	203	2								
切久保	79	212	122	90	2										
小計	1,486	4,139	2,143	2,091	21										

避難計画集計表(例:ライン3)

		ゾーン避難			ライン避難			54,098人 (21,096世帯) 100%		63,430人 (24,924世帯) 30.4%	
噴火警戒レベル		レベル3	レベル4	レベル5	レベル5拡大①	レベル5拡大②	レベル5拡大③	市外避難		総避難者数	
各ゾーンの避難行動		1次ゾーン <活動自粛> <避難準備>	1次ゾーン <避難> <避難準備>	2次ゾーン <避難> <避難準備>	3次ゾーン <避難> <避難準備>	4次ゾーンA <避難> <避難準備>	4次ゾーンB <避難> <避難準備>				
ライン	避難者数		66人	647人	2,505人	16,308人	43,904人	最初の市外避難	2回目の市外避難		
3	裾野市 (54,098人)	観光客・登山者 (30世帯) 66人 ② 避難	観光客・登山者 (329世帯) 647人 ③ 避難	観光客・登山者 (1次ゾーン外へ)	観光客・登山者 (3次ゾーン外へ) 観光客・登山者 (3次ゾーン外へ)	市内一時避難 (359世帯) 713人 973人(避難所収容人数) (781世帯) 2,505人 2,577人(避難所収容人数) ⑨ 0人 民間企業 (15B) (6,389世帯) 16,308人 ⑩ 避難 避難	市内一時避難 (151世帯) 433人 461人(避難所収容人数) (13,567世帯) 34,572人 ⑪-2 避難 避難	(359世帯) 713人 (781世帯) 2,505人 (151世帯) 433人 (6,238世帯) 15,875人 (13,567世帯) 34,572人	(21,096世帯) 54,098人 (100%)		
	長泉町 (41,141人)						5,075人(1,936世帯) 12.3%の市内避難 (1,936世帯) 5,075人 ⑫ 避難 5,075人(避難所収容人数)			(1,936世帯) 5,075人 (12.3%)	
	三島市 (113,119人)						4,257人(1,892世帯) 3.8%の市内避難 (1,892世帯) 4,257人 ⑬ 避難 4,372人(避難所収容人数)			(1,829世帯) 4,257人 (3.8%)	
	小計 (世帯) (人数) (比率)		(30世帯) 66人 (0.1%)	(329世帯) 647人 (1.2%)	(781世帯) 2,505人 (4.6%)	(6,389世帯) 16,308人 (30.1%)	(17,395世帯) 43,904人 (21.1%)	(7,378世帯) 19,093人 (35.3%)	(13,718世帯) 35,005人 (64.7%)	(21,096世帯) 54,098人 (100%)	
	避難者累計			(781世帯) 2,505人 (5.9%)	(7,170世帯) 18,813人 (36.0%)	(24,565世帯) 62,717人 (30.1%)					

富士山東麓 ライン3 裾野市・長泉町・三島市



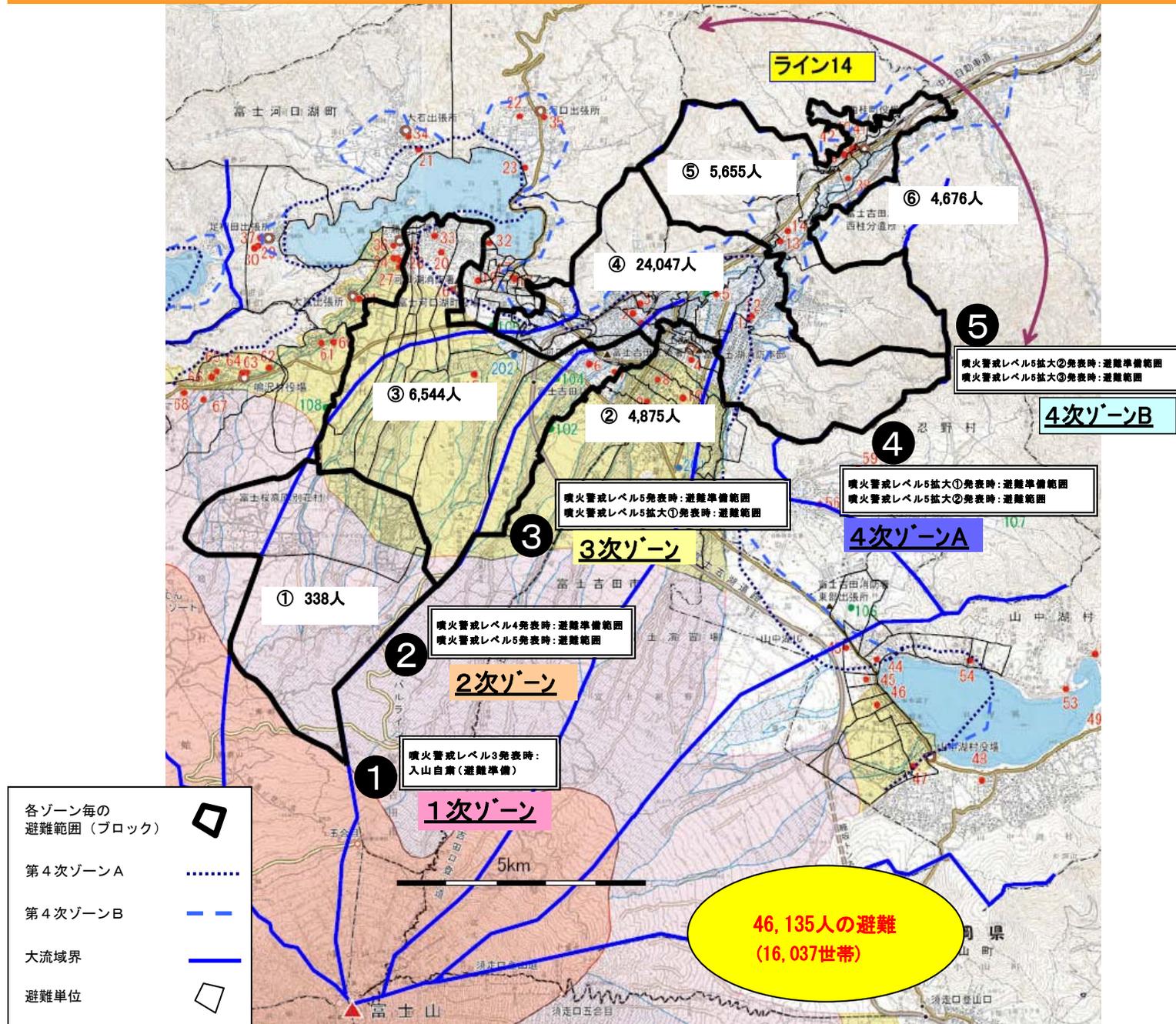
避難計画個表(例:ライン14)

ライン	避難ゾーン	市町村	避難地域	世帯	総人口	男	女	要援護者	避難手段	集合場所	避難手段(時間)	第1次集合場所	避難手段(時間)	避難場所	避難所番号
	2	鳴沢村	① 富士山	176	338	167	171	19	徒歩・自家用車	鳴沢小学校グラウンド	車 5分	鳴沢小学校グラウンド	自家用車、バス → 国道139号線 鳴沢富士河口湖線 国道137号線	【ライン13へ】 鳴沢小学校(532) 大和田公民館(120) 鳴沢村総合センター(210) なるさわ富士山博物館フジエボクホール(233) 保健センター(51) 鳴沢農協(100) 大和田農協(100) 鳴沢村民体育館(328) 鳴沢村武道館(53) 屋内テニスコート場(414) 2,201 【富士山周辺市町村外避難】	63 60 62 64 66 61 67
			小計	176	338	167	171	19	徒歩・自家用車 徒歩・自家用車 自家用車	大田和公民館駐車場 鳴沢村総合センター駐車場 山道ホール駐車場 道の駅なるさわ 大田和さくらの里公園 丸紅別荘公園 京王1次テニスコート 京王2次テニスコート 富士観光開発3次テニスコート 鳴沢スポーツ広場	車 5分 車 5分 車 15分 車 20分	大田和公民館駐車場 鳴沢村総合センター駐車場 山道ホール駐車場 道の駅なるさわ 大田和さくらの里公園 丸紅別荘公園 京王1次テニスコート 京王2次テニスコート 富士観光開発3次テニスコート 鳴沢スポーツ広場			
	3	富士吉田市	② 松山	1,926	4,875	2,410	2,465	31	徒歩 自家用車	・富士見台中学校(240) ・下吉田東小学校(215) ・富士見町会館(115) ・新町会館(75)他	徒歩(最大15分) 自家用車(5~10分)	集合場所に同じ	自家用車、バス → 国道137号線 国道139号線	【富士山周辺市町村外避難】	
			小計	1,926	4,875	2,410	2,465	31	徒歩 徒歩 徒歩 徒歩 徒歩 徒歩 徒歩 自家用車 徒歩 徒歩	町中央公民館 町中央公民館 八木崎公園 小立小学校 小立小学校 小立小学校 小立小学校 町中央公民館 小立小学校 勝山小中学校	徒歩 徒歩 徒歩(10分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 自家用車(10分) 徒歩(15分) 徒歩(15分)	町中央公民館 町中央公民館 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 町中央公民館 八木崎公園 小海公園	町中央公民館 自家用車、バス → 国道137号線 鳴沢富士河口湖線 自家用車、バス → 国道137号線 鳴沢富士河口湖線 八木崎・小海公園 自家用車、バス → 国道137号線 国道139号線	【ライン13へ】 大石・河口地区 大石小学校(154) 河口小学校(156) 河口湖北中学校(156) 河口福祉センター(166) 大石福祉センター(121) 753 足和田福祉センター(207) 西浜中学校 262 【富士山周辺市町村外避難】	21 22 23 35 34
	4A	富士吉田市	③	139	834	492	342		徒歩	町中央公民館	徒歩	町中央公民館	自家用車、バス → 国道137号線 鳴沢富士河口湖線 自家用車、バス → 国道137号線 国道139号線	【富士山周辺市町村外避難】	37 30
			南台一丁目 南台二丁目 乳ヶ崎 林 久保 八丁屋 西 サンコーボラス河口湖区 河口湖ニュータウン つつじヶ丘 小計	82 531 401 69 338 218 78 48 51 1,955	492 492 1,532 1,155 211 1,035 669 239 147 230 6,544	250 743 626 95 663 295 138 75 130 3,507	242 789 529 116 372 374 101 72 100 3,037	0	町中央公民館 町中央公民館 八木崎公園 小立小学校 小立小学校 小立小学校 小立小学校 町中央公民館 小立小学校 勝山小中学校	徒歩 徒歩 徒歩(10分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 徒歩(15分) 自家用車(10分) 徒歩(15分) 徒歩(15分)	町中央公民館 町中央公民館 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 八木崎公園 町中央公民館 八木崎公園 小海公園				
	4A	富士吉田市	④	823	2,385	1,200	1,185	14	徒歩 自家用車	・富士見台中学校(240) ・下吉田東小学校(215) ・富士見町会館(115) ・新町会館(75)他	徒歩(最大15分) 自家用車(5~10分)	集合場所に同じ	自家用車、バス → 国道137号線 国道139号線	【富士山周辺市町村外避難】	
			東町 仲町 中村 中央区 弁天町 富士見町 宮下町 新町 緑ヶ丘 浅間町 西丸尾 旭町 竜ヶ丘 赤坂 小計	187 327 214 246 1,208 106 650 258 406 148 560 753 360 261	553 793 534 533 3,407 249 1,722 588 1,208 315 1,511 1,969 859 2,385	270 365 235 272 1,675 125 805 290 594 152 769 979 447 1,200	283 428 299 261 1,732 124 917 298 614 163 742 990 412 1,185	6 28 24 5 39 6 32 21 11 19 18 4 14							

避難計画集計表(例:ライン14)

		ゾーン避難			ライン避難			46,135人 (16,037世帯) 53.7%		46,135人 (16,037世帯) 53.7%	
噴火警戒レベル	避難者数	レベル3	レベル4	レベル5	レベル5拡大①	レベル5拡大②	レベル5拡大③	市町村外避難者数		総避難者数	
各ゾーンの避難行動<避難準備>		1次ゾーン<活動自粛> <避難準備>	1次ゾーン<避難> <避難準備>	2次ゾーン<避難> <避難準備>	3次ゾーン<避難> <避難準備>	4次ゾーンA<避難> <避難準備>	4次ゾーンB<避難> <避難準備>	最初の市・町外避難	2回目の市・町外避難		
ライン	市町村			338人	11,419人	24,047人	10,331人				
	鳴沢村 (3,204人)	観光客・登山者	観光客・登山者	観光客・登山者 ① 避難 (176世帯) 338人	→ (1次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)	→ (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)		(176世帯) 338人 10.5%		(176世帯) 338人 10.5%	
	小計 (世帯) (人数) (比率)			(176世帯) 338人 (10.5%)				(176世帯) 338人 (10.5%)		(176世帯) 338人 (10.5%)	
	富士吉田市 (51,710人)	観光客・登山者	観光客・登山者	観光客・登山者 ② 避難 (1,926世帯) 4,875人	→ (1次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)	→ (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)	④ 避難 (8,644世帯) 24,047人	(1,926世帯) 4,875人 9.4%	(8,644世帯) 24,047人 (46.5%)	(12,505世帯) 34,577人 66.9%	
	小計 (世帯) (人数) (比率)			(1,926世帯) 4,875人 (9.4%)		(8,644世帯) 24,047人 (46.5%)	⑤ 避難 (1,935世帯) 5,655人	(1,926世帯) 4,875人 (9.4%)	(10,579世帯) 29,702人 (57.4%)	(12,505世帯) 34,577人 66.9%	
	富士河口湖町 (26,351人)	観光客・登山者	観光客・登山者	観光客・登山者 ③ 避難 (1,955世帯) 6,544人	→ (1次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)	→ (3次ゾーン外へ) → (3次ゾーン外へ)		(1,955世帯) 6,544人 24.8%		(1,955世帯) 6,544人 24.8%	
	小計 (世帯) (人数)			(1,955世帯) 6,544人				(1,955世帯) 6,544人		(1,955世帯) 6,544人	

富士山北麓 ライン14 鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、西桂町

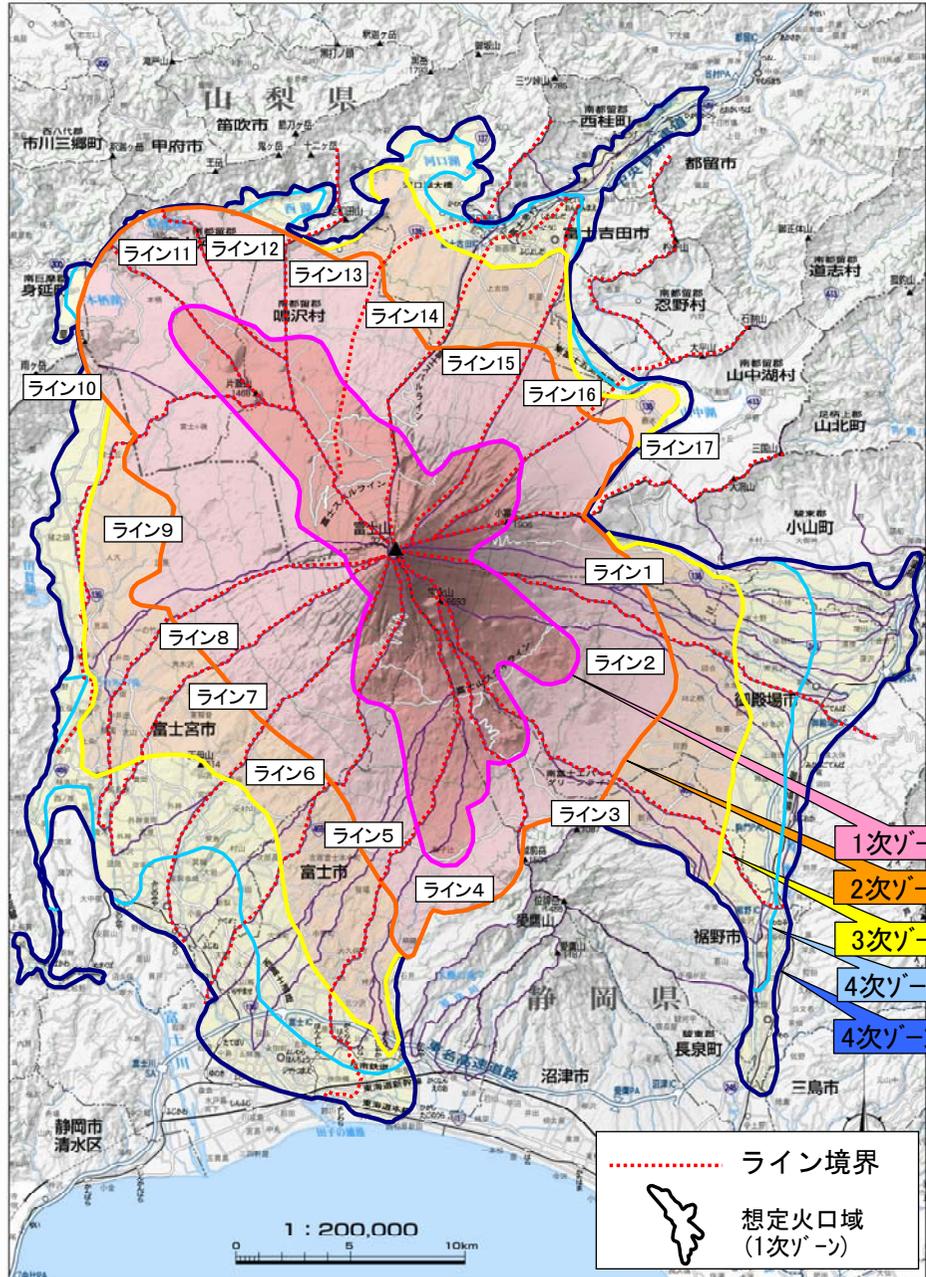


ライン・ブロック別避難対象者数

資料2-1参照

ゾーン (1~4B) とライン (1~17)

ライン別避難対象者集計表



地域	ライン	避難方式 噴火警戒レベル 市町村	ゾーン避難			ライン避難			避難対象者 合計
			レベル3 1次ゾーン <活動自備> <避難準備>	レベル4 2次ゾーン <避難> <避難準備>	レベル5 3次ゾーン <避難> <避難準備>	レベル5拡大① 4次ゾーンA <避難> <避難準備>	レベル5拡大② 4次ゾーンB <避難> <避難準備>	レベル5拡大③	
東麓	ライン1	小山町 御殿場市 (105, 839人)		(13軒)		(2, 492世帯) 6, 371人 (6.0%)	(8, 291世帯) 23, 495人 (22.2%)	(11, 276世帯) 29, 247人 (27.6%)	(22, 059世帯) 59, 113人 (55.9%)
	ライン2	御殿場市 裾野市 (85, 645人)		(5軒)		(3, 076世帯) 8, 945人 (10.4%)	(8, 949世帯) 24, 777人 (28.9%)	(10, 480世帯) 26, 177人 (30.9%)	(22, 505世帯) 59, 899人 (69.9%)
	ライン3	裾野市 長泉町 三島市 (208, 358人)		(30世帯) 66人 (0.03%)	(329世帯) 647人 (0.3%)	(781世帯) 2, 505人 (1.2%)	(6, 389世帯) 16, 308人 (7.8%)	(17, 395世帯) 43, 904人 (21.1%)	(24, 924世帯) 63, 430人 (30.4%)
小計			(19軒) 66人 (0.02%)	(329世帯) 647人 (0.3%)	(6, 349世帯) 17, 821人 (8.4%)	(23, 629世帯) 64, 580人 (5.7%)	(39, 151世帯) 99, 328人 (2.5%)	(69, 488世帯) 182, 442人 (17.0%)	
西麓	ライン4	富士市 (260, 559人)	(19世帯) 48人 (0.02%)	(325世帯) 910人 (0.3%)	(7, 953世帯) 21, 782人 (8.4%)	(5, 493世帯) 14, 810人 (5.7%)	(2, 405世帯) 6, 626人 (2.5%)	(16, 195世帯) 44, 176人 (17.0%)	
	ライン5	富士市 (260, 559人)		(211世帯) 716人 (0.3%)	(6, 099世帯) 17, 412人 (6.7%)	(17, 668世帯) 45, 871人 (17.6%)	(26, 584世帯) 67, 369人 (25.9%)	(50, 552世帯) 131, 368人 (50.4%)	
	ライン6	富士市 富士宮市 (396, 238人)		(10軒)	(1, 436世帯) 3, 810人 (1.0%)	(9, 549世帯) 25, 961人 (6.6%)	(17, 939世帯) 46, 700人 (11.8%)	(28, 924世帯) 76, 471人 (19.3%)	
	ライン7	富士宮市 (135, 679人)		観光者 登山者	(2, 479世帯) 6, 531人 (4.8%)	(15, 187世帯) 39, 630人 (29.2%)	(8, 885世帯) 22, 936人 (16.9%)	(26, 551世帯) 69, 097人 (50.9%)	
	ライン8	富士宮市 (135, 679人)		活動自備 (避難準備)	(745世帯) 1, 747人 (1.3%)	(2, 696世帯) 7, 145人 (5.3%)	(12, 212世帯) 31, 567人 (23.3%)	(1, 345世帯) 3, 663人 (2.7%)	(16, 998世帯) 44, 122人 (32.5%)
	ライン9	富士宮市 鳴沢村 富士河口湖町 (162, 030人)		(1, 335世帯) 3, 382人 (2.1%)	(1, 077世帯) 2, 784人 (1.7%)	(1, 077世帯) 2, 784人 (1.7%)	(16, 112世帯) 41, 612人 (25.7%)	(1, 235世帯) 3, 657人 (2.3%)	(9, 759世帯) 26, 435人 (16.3%)
	ライン10	富士宮市 富士河口湖町 身延町 (175, 773人)		(403世帯) 1, 062人 (0.6%)		(1, 337世帯) 3, 397人 (1.9%)	(1, 337世帯) 3, 397人 (1.9%)		(1, 740世帯) 4, 459人 (2.5%)
	小計			(10軒) 48人 (0.02%)	(3, 019世帯) 7, 817人 (3.0%)	(20, 304世帯) 59, 464人 (22.6%)	(57, 999世帯) 177, 848人 (67.2%)	(40, 454世帯) 150, 951人 (57.7%)	(121, 795世帯) 396, 128人 (151.5%)
	北麓	ライン11	富士河口湖町 (26, 351人)		(388世帯) 969人 (3.7%)				(388世帯) 969人 (3.7%)
		ライン12	鳴沢村 富士河口湖町 (29, 555人)		(863世帯) 2, 410人 (8.2%)	(74世帯) 209人 (0.7%)			(937世帯) 2, 619人 (9.9%)
ライン13		富士吉田市 鳴沢村 富士河口湖町 (81, 265人)		(1, 194世帯) 3, 204人 (3.9%)	(3, 167世帯) 10, 446人 (12.9%)	(3, 563世帯) 15, 039人 (18.5%)		(7, 924世帯) 28, 689人 (35.3%)	
ライン14		富士吉田市 鳴沢村 富士河口湖町 西桂町 (85, 941人)		(176世帯) 338人 (0.4%)	(3, 881世帯) 11, 419人 (13.3%)	(8, 644世帯) 24, 047人 (28.0%)	(3, 336世帯) 10, 331人 (12.0%)	(16, 037世帯) 46, 135人 (53.7%)	
ライン15		富士吉田市 鳴沢村 富士河口湖町 西桂町 西桂町 (56, 386人)		(21軒)	(7, 837世帯) 20, 259人 (35.9%)	(8, 899世帯) 24, 937人 (44.2%)	(3, 336世帯) 10, 331人 (18.3%)	(20, 072世帯) 55, 527人 (98.5%)	
ライン16		富士吉田市 西桂町 忍野村 山中湖村 (70, 423人)		(3, 352世帯) 10, 161人 (14.4%)	(3, 543世帯) 10, 955人 (15.6%)	(3, 520世帯) 11, 297人 (16.0%)	(3, 520世帯) 11, 297人 (16.0%)	(10, 415世帯) 32, 413人 (46.0%)	
ライン17		山中湖村 (5, 296人)		(158世帯) 775人 (14.6%)	(214世帯) 1, 120人 (21.1%)	(175世帯) 754人 (13.1%)	(131世帯) 694人 (13.1%)	(678世帯) 3, 343人 (63.1%)	
小計			(21軒) 0人 (0軒)	(2, 779世帯) 7, 696人 (28.7%)	(18, 525世帯) 53, 614人 (20.2%)	(24, 824世帯) 75, 732人 (28.8%)	(10, 323世帯) 32, 653人 (12.3%)	(56, 451世帯) 169, 695人 (63.1%)	
合計			(49世帯) 114人 (0.4%)	(6, 127世帯) 16, 160人 (6.1%)	(45, 178世帯) 130, 899人 (48.2%)	(106, 452世帯) 318, 160人 (117.2%)	(89, 928世帯) 282, 932人 (103.7%)	(247, 734世帯) 748, 265人 (277.5%)	

※ 全てのラインへの噴火現象は同時に発生するものではない。
各ゾーン毎の避難者数の合計については、ラインで重複しているため、避難者数の総計ではない。

噴火警戒レベルに応じた避難（一般住民）

一般住民の場合

噴火警戒レベルと避難行動

避難順序	噴火警戒レベルと避難行動						溶岩流が到達する可能性のある範囲 (溶岩流可能性マップの説明)
	レベル3	レベル4	レベル5	レベル5 拡大①	レベル5 拡大②	レベル5 拡大③	
①	(観光客等 は活動自 粛)(避難準備)	避難	避難	避難	避難	避難	火口分布領域
②	—	避難準備	避難	避難	避難	避難	溶岩流2時間 到達範囲
							溶岩流3時間 到達範囲
③	—	—	避難準備	避難	避難	避難	溶岩流6時間 到達範囲
							溶岩流12時間 到達範囲
							溶岩流24時間 到達範囲
④	—	—	—	避難準備	避難	避難	溶岩流7日間 到達範囲
⑤	—	—	—	—	避難準備	避難	溶岩流最終 到達範囲 21

平成24年度 山梨県災害対策本部

総合図上訓練(富士山火山)

1. 日時 平成25年1月21日(月)(10:00~16:00)
第1フェーズ(10:00~12:00)
第2フェーズ(13:00~16:00)

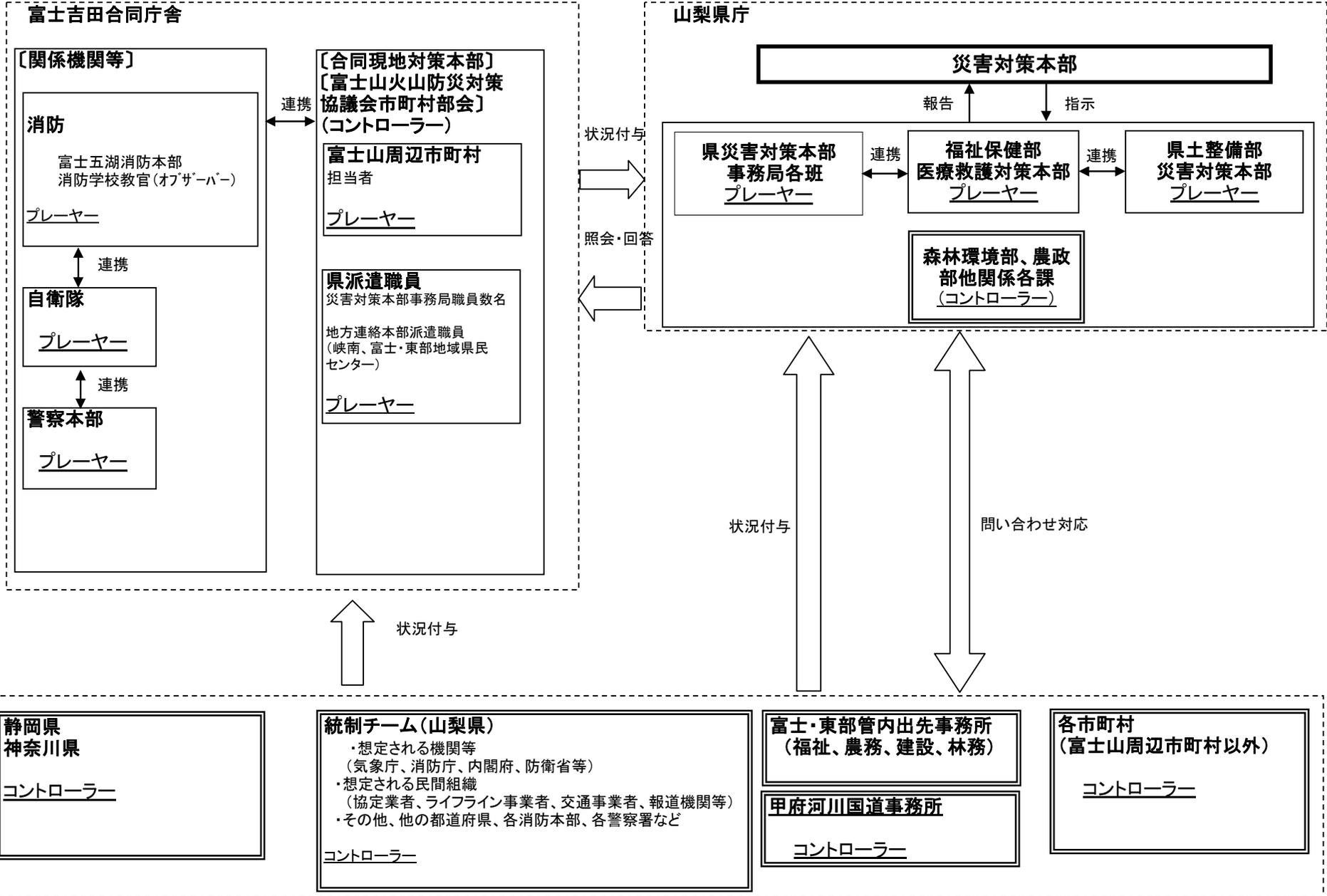
2. 場所 山梨県庁北別館(災害対策本部、事務局)
防災危機管理課執務室(第一配備態勢)
県庁舎各執務室及び関係出先機関
富士吉田合同庁舎(合同現地対策本部等)



3. 内容 第1フェーズ:噴火警戒レベル3が発表された段階(第一配備態勢)
第2フェーズ:噴火警戒レベル4及びレベル5が発表され、その後、噴火した段階
(災害対策本部、合同現地災害対策本部)

4. 参加者 知事、副知事、各部局長等(災害対策本部員)、災害対策本部事務局職員、
医療救護対策本部職員、県土整備部災害対策本部職員、山梨県警察本部、
富士山周辺市町村等、陸上自衛隊第1特科隊、消防本部、甲府河川国道事務所
…約200人

H24総合図上訓練概要フロー図



訓練時程表

想定上の月日	1月21日						
実行の月日	1月21日						
実施事項等	10:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	16:00
	訓練開始	噴火警戒レベル3	状況確認	噴火警戒レベル4	噴火警戒レベル5	噴火警戒レベル5 (噴火) 災害対策本部員会議 15:30~	解散
	県第一配備態勢 (県防災危機管理課職員) 富士山火山防災対策協議会市町村部会 (富士山周辺市町村職員) ※医療救護、県土整備部災害対策本部職員は執務室で待機 ※コントローラーは対応実施		県災害対策本部 (県庁北別館) (事務局職員、医療救護、県土整備部災害対策本部所職員) 合同現地災害対策本部 (富士吉田合同庁舎) (県派遣職員、富士山周辺市町村職員、警察、消防、自衛隊)				

